

緊急プラン(素案)・ゼロ試案に対する市民意見【図書館】

No.	種別	意見
10	図書館	<p>61 図書館の統廃合や運営のあり方について</p> <p>図書館の指定管理には反対する。箕面市では図書館協議会から平成18年度に指定管理者制度の導入について【意見書】を提出。マイナス面をあげて慎重に判断すべきとあります。指定管理は民間への事業委託ではなく、権限委譲を伴うものです。単に一部の事務作業を代行する駐車場や駐輪場とはことなる施設である。図書館は教育、研究、啓発という機能を持った施設である。図書館の政策形成は民営化できません。特に箕面の図書館はさまざまな市民の参画と協働のもとに運営されている。学校図書館との連携や自動車文庫の配本、こども向けのおはなし会、きめ細かい障害者サービス、健康増進課、市民団体との協働と連携でおこなっている乳幼児サービスなどこれらのコストとノウハウのかかるサービスは指定管理ではできません。直営だから実施できているサービスを斬り棄てることになる。</p> <p>箕面市のこれからのまちづくりは市民との協働、参画が重要であると施政方針にある。箕面の図書館のミッションはまちづくりに生きる図書館である。図書館は本の貸し出しだけではなく、子どもの居場所事業、子育てに関わる事業、子育て支援センター的な役割を果たしています。子育て日本一を目指している箕面市です。この点からも図書館はまちづくりのインフラです。図書館はまだまだ有効利用できます。経済効率優先の指定管理は箕面市が今まで築いてきた図書館政策の理念を壊すこととなります。図書館はシステムとしてうごいています。1館でも指定管理になったら箕面の図書館の機能は止まってしまいます。</p> <p>図書館のもつ公共性について今一度ご論議いただきたい。市場原理(指定管理)を導入して、失敗している図書館がいくつもあります。まちづくりは人づくりです。人を育てる図書館は公的責任で運営していただきたい。</p>
12	図書館	<p>日ごろ、桜ヶ丘図書館をよく利用している市民です。</p> <p>桜ヶ丘図書館は規模の小さな図書館であり、図書館の再編統合の対象としてリストアップされているのではないかと推察します。</p> <p>しかし、平成21年度の箕面市統計書を見ると、桜ヶ丘図書館はその規模の割りに貸出冊数が非常に多い、市内でも1・2を争う高利用率の図書館であると見受けられます。</p> <p>(表の添付あり。貸出冊数 / 蔵書数) 中央(含移動)418,982冊 / 274,408冊 = 1.53、東268,411冊 / 121,074冊 = 2.22、桜ヶ丘92,845冊 / 29,245冊 = 3.17、萱野南178,309冊 / 103,994冊 = 1.71、人権文化センター93,087冊 / 54,425冊 = 1.71、西南282,050冊 / 86,092冊 = 3.28、合計1,333,684冊 / 669,238冊 = 1.99</p> <p>また、他館と異なり、駐車場がないことから、桜ヶ丘図書館利用者は基本的に徒歩、自転車利用者であると考えられ、他館へのアクセスが困難な人も少なくないと考えられます。</p> <p>指定管理者制度の導入等はやむをえないものと考えますが、ある程度の図書館機能は維持していただくよう、強く要望いたします。</p>

No.	種別	意見
91	図書館	<p>このたびも、ゼロ試案の説明会に参加させていただきました。 Ver.3では、市民意見や担当課との討議を尽くした結果、内容変更、時期の見直し、改革案そのもの見送り、新規に取り上げたものなどがあるということでした。私はとくに図書館に関心がありますので、以下それに関して述べさせていただきます。</p> <p>(1)まず知りたいのは、担当部局とどのような討議調整がなされたのか、その内容および過程です。変更のなかった項目については、ゼロチームが納得できるような説得力や十分な代替案が示されなかったということでしょうか。これについてはぜひ公表をお願いしたいのです。ゼロチームの方によると、この試案、まさに事業仕分けそのものとのことでした。ならば仕分け人と担当部局とのやりとりを公開するとか傍聴できるよう、次回よりぜひ工夫して下さるようお願いいたします。</p> <p>(2)ゼロチームの方によると、図書館については特別の配慮をしている、もっと積極的に意見を出してほしいとのことでした。ということは、図書館部局が明確な方針を打ち出せず、自己規制してしまったということでしょうか。統廃合、23年からの年5,500万の削減、今回新たに指定管理者制度の導入という運営形態も加わりました。どう対処していくのか、一向に方向がみえません。協議会を傍聴したり、各館の館長さんなどにも、グループとして意見書を出させていただいたのですが、内部の考えがどうなのかはわかりませんでした。</p> <p>(3)ゼロ試案について、少ない情報のなか、市民もそれなりに考えを出そうとしています。では市の職員の方々はどのようなのでしょうか。まず職員が自ら考えることが大事ではありませんか。そうしている職員も確かにいるのですが、残念なことにまとまった力になっていないようです。その原因は何でしょう。目前の差し迫った仕事に追われっぱなしで考える余裕が無いというのはなしも耳にします。そのために管理職という役職者がいるのでしょうか？全体をみわたり、職員の力のバランスをとり、個の力を全体の力に高めていくリーダーシップを発揮していただきたいものです。管理職の方も含めて是非、職員の意識改革に力を入れてください。</p> <p>(4)図書館は年齢や職業を問わず、幅広く市民にとって最も生活に密着した施設です。図書館からの積極的な働きかけがあれば、この困難をのりきるもっとたくさんのアイデアが市民から寄せられるのではないのでしょうか。図書館は図書館として、いま図書館が置かれている状況をきちんと説明し発信していくべきです。これだけ利用している市民に対する責任があるはずですよ。</p> <p>(5)図書館の再編統合に関して、その理由として市の規模から考えて6館は多すぎるとよくいわれます。その根拠を詳しく教えてください。</p> <p>(6)なお、61項に前回記載されていた、小野原西公共施設における未来型図書館機能を検討する、という条項が削除されているのはなぜですか？ 今回ひとつ疑問に思ったことは、未来への第一歩・重点施策への投資に関しては、なんら再検討がなされないということです。なかには、なぜ今この時期に必要なか？と首をかしげるものもあります。</p> <p>地域交付金、小中一貫教育の推進、北大阪急行の延伸、未来子ども基金の創設等です。本来これも事業仕分けの対象になるのではないのでしょうか？</p>

No.	種別	意見
175	図書館	<p>以下、ゼロ試案Ver.3(61)図書館の再編統合についての意見です。</p> <p>結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に密着した、私の高校生生活に密着した桜ヶ丘図書館を無くさないでください。 2. 改革内容「図書館数(統廃合)についての再検討」...図書館の統廃合について反対します。 3. 改革内容「運営のあり方(指定管理者制度の導入など)についての再検討」...指定管理者制度の導入は、現行の図書館サービスが低下しなければ賛成します。 <p>結論に至る背景および理由 (お断り:ここでいう「図書館職員」「職員」には司書の方を含んでいます)</p> <p>私は、学校が休みの土、日曜日を中心に、市立図書館に所蔵がある予約資料の受取、府・大阪市立図書館所蔵の公借のお願いと、その受取、(生活・芸術書が充実した)館内蔵書を利用するため、桜ヶ丘図書館を利用しています。また、本や図書館の上手な利用、司書という職業についての相談もよくしております。そして、相談にはいつでも快く乗ってくださいます。たとえ、それが閉館間際でも、予約資料の受け入れ、搬出準備のときでも、返却資料のバーコードをなぞっていらっしゃるときでもです。</p> <p>桜ヶ丘図書館の魅力は、開館中、いつでも気軽に声を掛けられる職員の方が、見えるところにいらっしゃることです。書庫のない、閉鎖的なバックグラウンドのない桜ヶ丘図書館は、常に利用者 と職員の方の顔が見える、暖かい図書館です。</p> <p>私は、桜ヶ丘図書館のほかにも、市民中央、西南、東、人文、阪大外国学図書館や、大阪府・大阪市・池田市・豊中市立図書館を利用したことがあります。職員の方に最も「親しみやすい、話しやすい、アットホームな」図書館は、間違いなく桜ヶ丘図書館です。私は、このような桜ヶ丘図書館を、「子育てしやすさ日本一」を目指す箕面市が無くしてはいけないと思います。どれだけ蔵書数が多くても、閲覧・自習席やOPAC(蔵書管理や検索システム)が整っていても、相談しにくい、話しにくいところでは、本と本棚が整然と並んでいるだけになってしまいます。「読書」が良いことは、誰もがきっとわかっているでしょう。しかし、本がある場所に話を聞いてもらえたり、相談に乗ってくれる人がいなければ、子どもたちもお母さんたちも、あらゆる年齢の人々がそこに行こうとはしないはずで、「人」と関わりが強い図書館、これが地域密着型の桜ヶ丘図書館です。</p> <p>ところで、東部地域では、西部地域ほど図書館の密度がありません。これは事実です。しかし、東部地域と西部地域の均衡をとるために既存の西部地域の図書館を統合するというのは、「子育てしやすさ日本一」にはつながりません。こう考えると、財政が危ない中、さらに財政負担が増してしまいます。そこで、「人の集まる」図書館で出来る広告事業を提案します。例えば、出入り口のマット広告、貸し出しシートの裏面広告(府立図書館が導入されています)、豊中市のようにネット書店と図書館ホームページをリンクして書籍画像の提供をするなど、様々な媒体、方法が考えられます。図書館で出版社以外の企業名が排除されるならば、それはそれで不公平だと思えます。こうした地道な取組で、市内に小さな、桜ヶ丘図書館のような図書館が増えていくことが「子育てしやすさ日本一」の一翼を担うことになると思います。</p> <p>先日、国の事業仕訳で、子どものための読書活動維持推進費用がカットされました。なんとか、地域でその影響を最小限に食い止められないものでしょうか。「地域の皆で地域の図書館を支える」これが大切です。そのためには、小さな図書館を統廃合することなく、将来的には増やす方向をご検討ください。そして利用者にも、延滞催促の連絡に経費をかけずに済むよう、延滞のペナルティを強化し、ルールを守って頂くよう、お願いすることもひとつの手であると思います。無駄な経費カットについては、ゼロ試案Ver.2でもご提案いたしましたので、これ以上は省かせていただきます。</p> <p>指定管理者制度については、図書館サービスの低下の原因とならなければ、賛成します。市役所内で、他部署から異動になったから図書館で勤めていらっしゃるといような、お役所感覚では、無駄の削減が進まないと思います。(市役所内の異動でも、日々無駄削減にまい進していらっしゃる図書館職員の方には、不愉快な思いを与えますこととお詫びします)。指定管理者制度が導入されたとしても、司書の方の配属は重要だと思えます。「安心して相談でき、信頼のおける」司書の方の存在は、利用者にとって大変大きなものです。</p> <p>以上、ゼロ試案Ver.3(61)については、「Ver.2から変更なし」とされていますが、再度、本当に「図書館数(統廃合)」の改革が必要なのかはご検討いただき、「子育てしやすさ日本一」に、図書館の存在が大きく関わっていることを申し上げたうえで、私の意見とさせていただきます。</p>

No.	種別	意見
184	図書館	<p>(番号61・図書館の再編統合に関して) 改革内容として「指定管理者制度の導入」が検討の俎上に上がっていますが、図書館は無償サービスが原則(=利用者数等の増加による利用料収入の増加が望めない)であり、民間企業等にサービス向上へのインセンティブを働かせることはできません。 また、「民間ノウハウ」を活用できるものでもなく(=民間に図書館運営のノウハウはない)、効率的な運営にはつながるべくもないように思います。 民間にさせれば効率的(=低コスト)であると考えるのはあまりに安易と思われます。</p> <p>箕面市のように高い水準にある図書館で指定管理者制度を導入している例は聞いたことがありません。それは、これまで築いてきた財産を投げ捨てるようなもので、大変にもったいないことと思います。</p> <p>さらに、この財産は「ぜいたく品」の類ではなく、将来に向けての貴重な資源の一つです。効率的な地方自治のためには、自立的な市民の成長が不可欠です。図書館をはじめとする生涯学習の環境・施策の充実は、そうした「市民育て」のためにもぜひ、市として責任をもって、直接担ってほしい部分であると思います。</p>
189	図書館	<p>今回のゼロ試案Ver.3では、今まで私達市民が反対してきたにもかかわらず、「統廃合」以外に新たに「指定管理者制度の導入」までもが検討されることになり、まことに遺憾に思っている。緊急プランの説明会では「市民からの意見もふまえ改革項目の見直しをおこない提案している」と言われたが、事実なのだろうか？</p> <p>そもそも毎年5500万円の削減と言う数字を出すこと自体、理解しがたい。市内6館ある図書館を1館廃館にした場合に減らせる額だと言うことだったが、箕面市の優れた点である、「図書館が他市より多くある」と言う利点を、なぜ簡単に手放そうとするのか？これからの社会はさらに複雑化し、一層情報が増え、高齢化も進む中で、益々図書館の存在が大切になっていこう。今ある6館がこれから、より重要な役割を果たすことは自明のことである。まずは6館を維持することを大前提にした上で検討するのが常道ではないだろうか？</p> <p>図書館は市民がサービスを受けていることが最も分かり易い機関のうちの一つである。それを安易に失くしてしまう等、とんでもない事だと思う。本当に市民のことを考えているのなら、簡単に「図書館を統廃合する」や「指定管理者に任す」などと言って欲しくない。公民合わせた知恵や貴重な時間を使って、一館ずつ造られてきた箕面市の図書館、しかも年数を重ね、利用者を増やし、地域に根付いた図書館へと成長しつつあるものを、壊すなどとてももったいない話である。市民の気持ちを全く無視した行為である。</p> <p>箕面市は図書館が6館あり、全ての小・中学校図書館にも司書が配置され、他市の誇れる事だとかねがね思っていたが、その優れた点を、それこそ、紅葉や大滝のように宣伝し更に発展させていって欲しい。優れた図書館なら、観光スポットにさえなり得ると思う。倉田市長が箕面市の話題をできるだけ外に発信していくと言われているが、箕面市の公立図書館を全国の手本にしてもいいのではないかと。それには勿論、職員の意識も高めて欲しい。昨年12月のゼロ試案以来、実際図書館の館長及び職員がどのように考えているのかが分からない。確かに一部職員が熱心に学習会を開いたり、組合と対策案を講じたりしているが、他多くの職員や、何より館長が一体どんな対策を考えているのかがさっぱり見えてこない。</p> <p>以上のことも加味されて、市民の事を考えた、対策を是非お願いしたい。</p>